

第 68 回全日本勤労者弓道選手権大会 石川県代表選考会

R3. 4. 10（土） 於：石川県立武道館弓道場

予選会結果 3人1チーム 各自8射 合計24射 総的中による

順位	チーム名	的中数	本大会 出場	備考
第1位	金沢村田製作所 A	16 中	○	
第2位	石川県庁	14 中		
第3位	北國銀行	13 中		
第4位	津田駒工業 A	12 中		
第5位	津田駒工業 B	9 中		
第6位	金沢村田製作所 A	4 中		

大会総評

昨年は、次々と行事が中止になっていく中で、エントリーするチームも2チームしかなく、結果的に本大会の中止が決定したことから、予選会も開催しなかった。

今年は、2年ぶりの予選会開催となった。しかし、コロナの影響で出場を見合わせる企業もあり、中心選手の転勤によりチーム編成が出来なくなったチームもあり、全部で6チームの参加と一昨年までに比べると少ない参加となった。本大会についても、開催予定という情報は、2月頃からあったものの、例年なら3月上旬には公開される実施要項の発表もなく開催が危ぶまれていたが、4月上旬にやっと発表があり、コロナの影響で大会規模を縮小した形で開催することが発表された。例年なら、各県の代表は2チームであるが、今年は1チームとなり、2日間かけて行う大会も1日での開催となった。

予選会当日は、陽はさしていたものの、風は冷たく肌寒い中での選考会となった。今年は、金沢村田製作所が活動を再開し、2チームがエントリーした。近年は、県代表となるチームが目まぐるしく変わっており、過去5年の代表チームは津田駒工業、中村留精密工業、北川ヒューテックが2回、北國銀行、石川県庁が各1回と本命不在の混戦状態が続いている。このうち、今年は中村留精密工業、北川ヒューテックは不参加、それに代わって今年は金沢村田が加わる形となった。

チームに国体候補選手を擁する津田駒、北國銀行、金沢村田中心の展開と予想されたが、寒さも影響したのか、各チーム的中が伸びず、1回目は石川県庁が8中でトップ、6中で北國銀行と金沢村田Aが続いた。2回目に金沢村田Aが本領を発揮し10中を出し、合計16中で暫定トップに躍り出た。1回目トップの石川県庁は、2回目は6中と振るわず、合計14中で、一步及ばなかった。この結果、金沢村田Aが本大会への出場権を獲得した。本大会は、令和3年6月5日～6日に栃木県宇都宮市で開催される。

今年は、本大会出場チームも少なく、予選も1回しかないため、波に乗れば上位入賞も期待できる。活躍を期待したい。

強化部長 牧野 学